

安達太良山の火山活動解説資料（平成26年7月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成21年3月31日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1、図2-①）

若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図2-②～④）

火山性地震は少ない状況で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図3、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

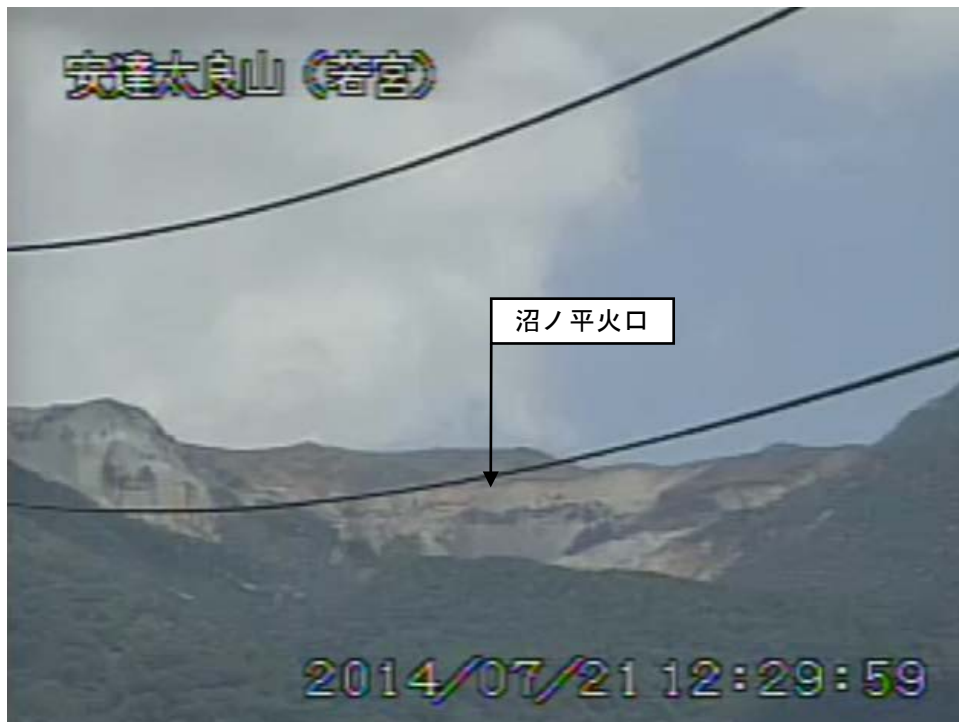


図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の映像（7月21日）

若宮（沼ノ平火口の西北西約8km）に設置してある遠望カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成26年8月分）は平成26年9月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

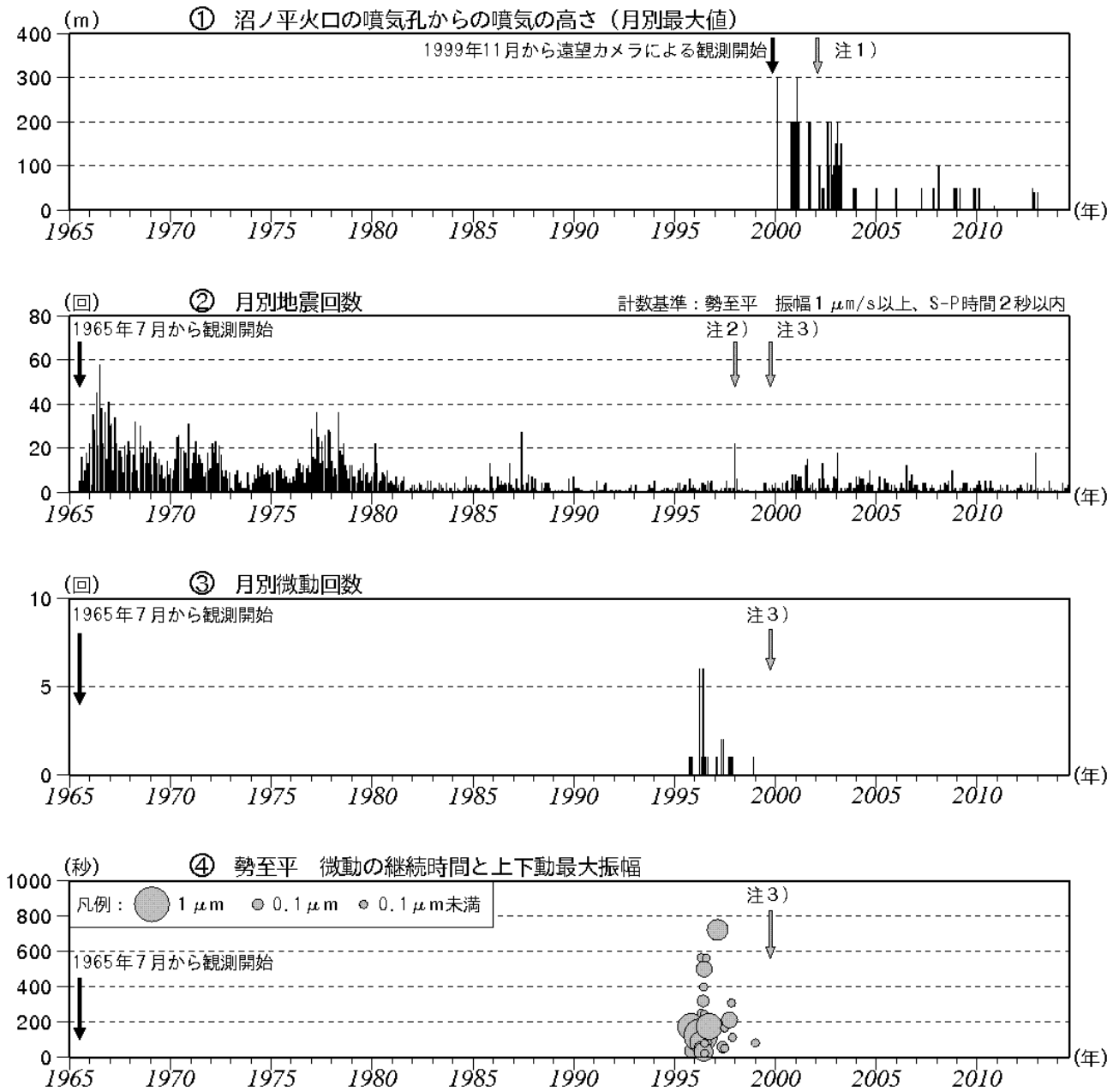


図2 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2014年7月）

- ・①注1) 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②～④注3) 1999年10月に基準観測点を塩沢観測点（沼ノ平火口から東北東約6km）から新設した勢至平観測点（沼ノ平火口から東北東約3km）に変更しました。

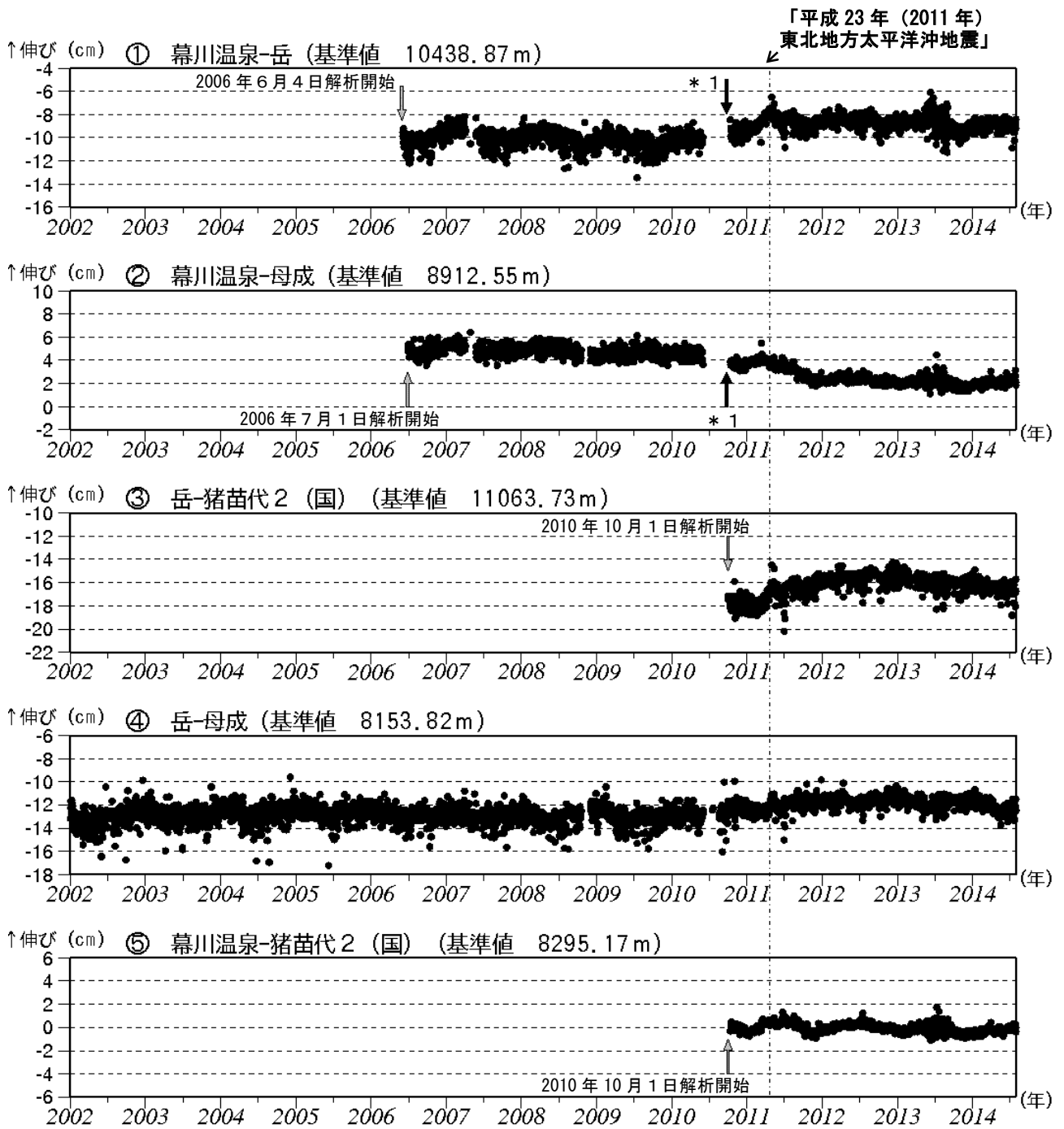


図3 安達太良山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2002年1月~2014年7月)

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
 - ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・①~⑤は図5のGNSS基線①~⑤に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・各基線の基準値は補正等により変更する場合がありますが、最新の値のみ表示しています。
- * 1 : 幕川温泉観測点の機器を更新しました。
 (国) : 国土地理院



図4 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

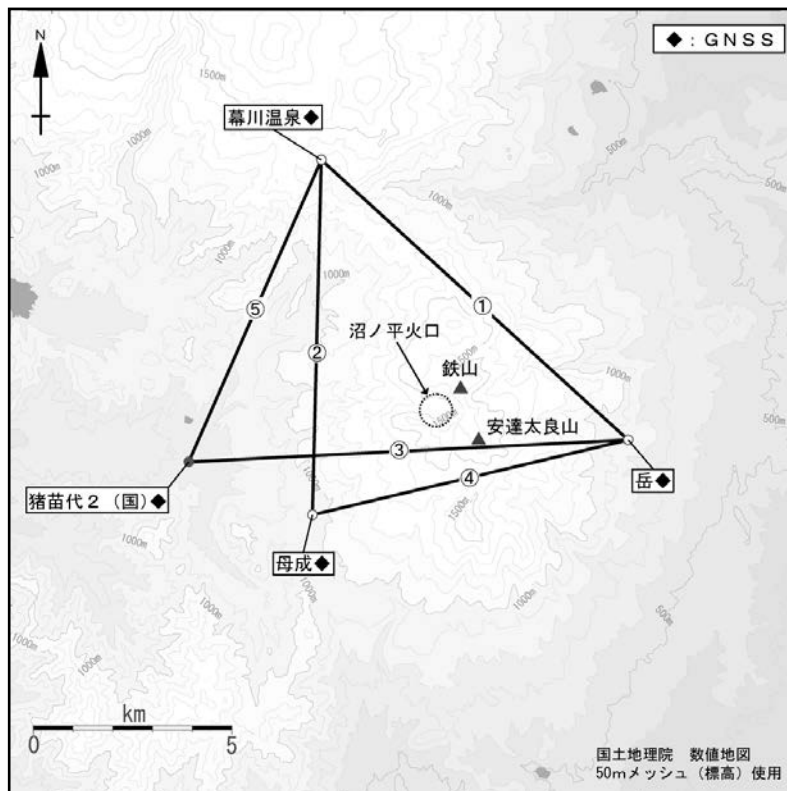


図5 安達太良山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院